

北海道遺産

## 留萌のニシン街道

《旧佐賀家漁場、旧花田家番屋と生活文化》

(留萌地域)



### ヤン衆の唄が響いたニシン漁場

ニシン漁は、松前藩の時代から北上するニシンを追い千石場所を変えながら、地域にさまざまな物語を残した。豊漁、薄漁、凶漁と気まぐれに押し寄せるニシンに翻弄され、いったん群衆を見ると番屋では数の子や身欠きニシン作りにあけくれた。ある年、ニシンは忽然と姿を消したが、そんなニシン漁の賑わいをニシン街道の番屋と生活文化が今に伝える。

(北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisan.org/> より引用)

【写真】旧花田家番屋 (小平町)

## INDEX

3~6 第33回北海道情報・印刷文化旭川大会 盛大に開催される

7 令和5年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会・第29回北海道青年印刷人フォーラムのご案内

8・9 第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション作品募集のご案内

10 稚内印刷株式会社が創業100周年

10 業界のうごき

## 北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

# 第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会 盛大に開催される

第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会が、8月25日、旭川市のOMO7旭川で、来賓、組合員、賛助会員、関連企業者約130人が参加して開催された。

同文化典は、記念式典、記念講演、記念パーティと翌日の記念ゴルフ大会の4部構成で開催された。

## 記念式典



成瀬和之氏

**記**念式典は、15時から開催され、開会につづき、第32回札幌大会以降に物故された組合員8人の冥福を祈り黙祷を捧げた後、成瀬和之実行委員の先導で印刷産業人綱領を唱和した。

次に、植平有治副大会長・旭川支部長が、歓迎のあいさつに立ち、「全道の組合員、関連業界の皆さん、ようこそ旭川へお越しいただきありがとうございます。昭和25年7月20日、北海道印刷製本業者懇親大会として、第1回大会を層雲峡で開催したのが始まり、平成17年に名称を北海道情報・印刷文化典に変更し、今回が73年間で33回目

を数える。本大会の目的は全道の組合員が一堂に会し、喫緊の問題や課題を共有し、親睦を深めながら連携をより強固にし、国を支える印刷産業として発展していくために過去の延長線から脱却した新しい印刷産業へのリ・デザインに果敢に挑戦していく機会にある」と述べた。



岸昌洋氏

参加した来賓、組合員、賛助会員、関連企業の紹介の後、岸昌洋大会長・理事長が大会長あいさつに立ち、「第33回北海道情報・印刷文化典を旭川の地でということで引き受けていただいた。まだ新型コロナウイルスの猛威が明けないという状況のなかで、このよう

に皆さんに参加いただき、ありがとうございます。今、DXという言葉がバズワードのようになって一人歩きしている状況であるが、我々印刷業界もデジタルトランスフォーメーションにどう関与し、立ち向かっていくか、敵でないので立ち向かうというのはおかしいが、それをどう活用していくかが喫緊の話題であった課題である。今日はこの後、懇親会もあるが、こういった機会を利用して、全道の組合員の皆さんに一堂に集まってもらっているので、是非、胸襟を開いて、皆さんと交流していただければと思う。本日は、長年にわたって企業の繁栄に尽力され栄えある永年勤続優良従業員を受けられる15人の皆さんに敬意と祝意を表す。来月9月6、7日にHOPE2023を、今年は制限をしないで開催する。こちら組合員ならびに関



連業の皆さんの多大なる尽力をいただき開催するので、是非、足を運んでいただければと思う。文化典の開催準備と運営のために尽力いただいた植平支部長とはじめとする旭川支部の皆さんに心より深謝申し上げる」と述べた。

次に、来賓を代表して4人から祝辞が述べられた。



酒井哲也氏

酒井哲也経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長は、「本日、第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会が多数の皆さんの出席のもと盛大に開催されることを心よりお祝い申し上げます。また本日、永年勤続優良従業員表彰を受けられる皆さん、誠におめでとうございます。

皆さんが長年にわたり、印刷業界の発展、振興に貢献されるとともに私たちの生活をより豊かにし、地域のあらゆる産業活動を支えて来られてきたことに深く感謝を申し上げます。少子高齢化や人口減少という非常に大きな課題への対応が求められているなかで、DXの推進、AIの有効活用について企業を取り巻く技術環境が、今、大きな変化、進展を遂げている。SDGsに対する意識が高まっているなど人々の価値観にも変化が見られる。こうした変化が大きい時代であればあるほど地域に根差した中小企業の皆さんが果たす役割はこれまで以上に大きくなっている。特に印刷産業におかれては、商業印刷や出版印刷はじめ身の周りのありとあらゆるものに関わっており、地域や顧客のニーズに合わせた創意工夫を重ねるなど、さまざまな事業展開を図っている。今後も長年培われた技術、ノウハウ、ネットワークを活かして社会経済の期待に応える新たな価値の創造や提供に取り組まれることを期待する。経済産業省としても新分野の展開、業種転換、業態転換といった事業再構築に対する支援や生産

性の向上、高付加価値化に向けた設備投資に対する支援に取り組んでいる。今後も皆さんが取り込まれる新たな意欲的な挑戦を応援していく」と述べた。



竹澤孝夫氏

竹澤孝夫北海道上川総合振興局長は、「本日、第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会が盛大に開催されることを心から喜び申し上げます。岸大会長、山田実行委員長をはじめ参集の皆さんにおかれては、本道経済の発展に多大なる尽力をいただき深く感謝を申し上げます。

近年、デジタル化や脱炭素化の動きが本格化するなか、エネルギーや原材料価格の高騰など、印刷産業をはじめ本道の社会経済を取り巻く環境が大きく変化してきている。こうしたなか本大会は、リングは何色、イメージを疑え、既成概念という過去からの脱却をテーマに掲げ、3年振りに集り、関係の皆さんが知見を深められ、交流を広げられるとともに、組合員の皆さんの経営安定や技術向上はもとより、地域の経済や文化を支える印刷産業の魅力を発信する絶好の機会になるものと期待している。道としても地域の経済、雇用を支え、本道経済の発展を活力の原動力である印刷産業をはじめとした地域に根差した企業の皆さんが、社会経済状況の大きな変化に対応していくことができるよう経営体質の強化や新事業展開をはじめ販路開拓や人材確保・育成、デジタル化や脱炭素化に向けた支援を充実していく。北海道印刷工業組合の皆さんにおかれても個別のニーズを捉えた木目細かな対応にシフトされるなど事業形態の変革に取り組まれており、今後とも印刷産業のさらなる発展を牽引していただくことを重ねて期待申し上げます」と述べた。



今津寛介氏

今津寛介旭川市長は、「本日は、北海道情報・印刷文化典旭川大会がこのように多くの皆さんが集り、盛大に開催されることを心からお祝いを申し上げます。北海道内はもとより全国各地から旭川市へお越しいただいたことを心から歓迎を申し上げます。岸大会長、植平支部長

をはじめ参会の皆さんにおかれては、それぞれ住いの地域において地域経済の活性化、道民の皆さんに潤いのある豊かな暮らしに尽力をいただいていることをお礼申し上げます。旭川市においては組合の皆さんに大変お世話になっており、広報誌「旭橋」163,000部を全戸配布していただいている。その印刷を担っていただいている。近年はコロナ禍において新型コロナワクチンの接種券や、いろいろな情報の通知に多大な力添えをいただいている。お礼申し上げます。私たち政治家にとって皆さん方は大切な戦友であり、ポスターも大・中・小あるし、表に貼るポスターは日差しでインキがはげないように、雨に濡れても破れないように配慮いただいている。室内用ポスター、掲示板のポスター、封筒も角2、長3と揃えなければならない。リーフレットもそうである。しかも校了になっても修

正してほしい、部数を増やしてほしいなど我儘ばかり言っているが、臨機応変に対応いただいていることをお礼申し上げます。一方で先ほど来、話のあるようにデジタル化、ペーパーレス、新型コロナウイルスで催事がなくなっている状況であるので、皆さん方の抱えている課題は大変大きい。しかし、紙媒体でしっかり隅々まで情報を伝えていく。雑誌、印刷物を通じて歴史を伝え、考えを伝えていくのはこれからも欠かすことができない。そういった意味で皆さん方の果たす役割はますます重要になってくる」と述べた。



滝澤光正氏

滝澤光正全日本印刷工業組合連合会会長は、「本日、北海道情報・印刷文化典はここ旭川の地において33回目として開催されることに誠におめでたく心よりお祝いを申し上げます。日頃は組合員の皆さんには、全印工連の事業活動に対して、深い理解と協力を賜っていること

に改めてお礼申し上げます。この大会は長い歴史において今日まで組合員企業の経営基盤の安定と強化をはかり、親睦を深め、組合員の連携を強固にし、北海道の印刷産業の振興・発展ならびに組合運営に献身的に尽力をされた諸先輩各位をはじめ役員・組合員の皆さんの協力によって成り立っているものと認識をしている。深甚なる敬意を表する。ここ数年来の新型コロナウイルスの拡大により、今や私たち印刷産業に対する期待と需要は一変した。SDGsやカーボンニュートラルの対応は、もはや企業として当然の取り組みとなったし、デジタル技術の利活用による一層の生産性の向上、地域社会への貢献、地場産業としての事業継続も求められている。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発する国際情勢の変化によってエネルギー価格や印刷関連資材価格の高騰の波が次々と押し寄せているなど、大変厳しい経営状況にある。そうした中、全印工連では、Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業のスローガンを掲げ、高付加価値コミュニケーションサービス産業への転換を目指し、デジタルトランスフォーメーション導入による生産性の向上、事業領域拡大による新たな価値創出、サステナブルな事業経営の3つの柱を基本的な考えとして、社会から求められる魅力ある産業へ向け、各種事業を積極的に推進している。特に昨年から本格稼働したDX-PLATの運用を通じ印刷産業の構造改善を図り、組合員企業の経営者、従業員の皆さんを対象としたデジタル技術のリスキリング事業の推進によって、事業領域の拡大につなげ、さまざまな地域社会の課題解決を担うことを通じて新たな立ち位置の創設を目指している。これからの時代にふさわしい印刷産業の姿を共に確立していきたい。北海道印刷工業組合員の皆さんは、是非、本日を契機として協調と団結をさらに強固にされ、印刷産業のさらなる発展のために共に力を合わせていくことを願います。本日の式典において表彰を受けられる方々の功績と長年の努力に対して心から深い敬意を表する」と述べた。



小坂橋信幸氏

祝電披露につづき、永年勤続優良従業員表彰が行われ、受賞者15人のうち当日出席の7人一人ひとりに岸理事長から表彰状と記念品が贈られた。(受賞者氏名は5頁に掲載)

受賞者を代表して、小坂橋信幸氏(中村印刷株・旭川支部)から「身に余る表彰を受け、感激している」と謝辞が述べられた。



宗万脩史氏

つづいて、宗万脩史実行委員から「本日、北海道印刷工業組合員ならびに関係者は、「リンゴは何色?イメージを疑え~『既成概念』という『過去』からの脱却」をテーマに、北北海道の拠点都市、ここ旭川市に集い、決意を新たに、さらなる研鑽を重ね、輝かしい発展を期することを誓い、企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを供給し、国民生活および文化を支え、人々の暮らしを彩り、幸せを創る印刷産業として、社会に貢献していくことを宣言する」と、印刷文化典宣言が提案され、満場の賛成で採択された。(印刷文化典宣言全文は6頁に掲載)

次に、岸理事長から次回2026年の第34回北海道情報・印刷文化典開催地を「札幌支部」と発表され、大会鍵が植平旭川支部長から岸札幌支部長に引き継がれた。

ここで札幌支部組合員が登壇し、「2026年、札幌で会いましょう」の横断幕を広げ、岡部信吾札幌支部副支部長があいさつをし、記念式典を終了した。



齊藤哲平氏

**記念講演**

記念講演は、16時30分から、講師にJAXA有人宇宙技術部門きぼう利用センターの齊藤哲平氏を招き、「有人宇宙活動の今とこれからについて」をテーマに開催された。



**記念パーティ**

記念パーティは、18時から開催された。



山田 遵氏

最初に主催者を代表して山田遵実行委員長が「大変暑い中、出席をいただき誠にありがとうございます。第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会が全日本印刷工業組合連合会滝沢会長様をはじめ、多くの来賓の皆さん、参会をいただいた組合員、賛助会員、関連企業の皆さんに厚くお礼申し上げます。大会開催にあたり、多く

第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会 永年勤続優良従業員表彰受賞者

	氏名	会社名	勤続年数	支部
30年以上表彰	中村良子	中村印刷株式会社	30年11月	旭川
	小坂橋信幸	中村印刷株式会社	30年4月	旭川
20年以上勤続	玉島和美	植平印刷株式会社	28年5月	旭川
	太田浩文	植平印刷株式会社	24年5月	旭川
	安孫子仁	中村印刷株式会社	29年2月	旭川
	山田豊	中村印刷株式会社	22年4月	旭川
10年以上勤続	長谷川修人	植平印刷株式会社	17年3月	旭川
	山田玲子	株式会社山紀	17年4月	旭川
	奥山竜次	中村印刷株式会社	15年2月	旭川
	高橋広美	プリントハウス株式会社	13年	札幌
	徳永英治	プリントハウス株式会社	12年10月	札幌
	大草宏三	プリントハウス株式会社	11年6月	札幌
	越智通方	プリントハウス株式会社	11年6月	札幌
	佐藤健	プリントハウス株式会社	11年6月	札幌
黒田英雄	プリントハウス株式会社	10年10月	札幌	

の皆さんに協賛をいただいたことをこの場を借りて感謝申し上げます。記念式典で受賞された15人の皆さん、心よりお祝い申し上げます。JAXAの斎藤哲平様には記念講演で有人宇宙活動の今とこれからについて講演いただき、誠にありがとうございました。普段接することできない貴重な話をありがとうございました。記念パーティはOMO7旭川の美味しい料理を堪能いただき、菅野孝山、優斗さんの津軽三味線の演奏をお聞きいただく。その後、利根川さんの司会による豪華景品を用意してアトラクションを企画している。時間の許す限りお楽しみください。またクラブプリンスでの2次会を準備しているので、多くの皆さんの参加をお願いしたい。旭川の3・6の夜をどうぞ楽しみください。本日は集まりの皆さんのますますの繁栄と健勝を祈念する」と歓迎のあいさつを述べた。



福居ひでお氏

来賓紹介につづき、福居ひでお旭川市議会議長が、「第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会が盛大に開催されたことを心からお祝い申し上げます。各地より多くの方々にお越しいただいたことに感謝を申し上げます。北海道印刷工業組合様、旭川印刷製本工業協同組合ならびに関係各位の皆さんに心から敬意を表しますとともに心から印刷産業の発展を祈念する」と祝辞が述べられた。



新谷龍一郎氏

つづいて、新谷龍一郎旭川商工会議所会頭の発声で、旭川地酒条例により地元旭川の日本酒で乾杯が行われ、開宴した。

祝宴では、菅野孝山氏・優斗氏により津軽三味線演奏、旭川印刷製本工業協同組合の皆さんによるテーブル対応ゴルフゲーム大会が行われ、会場の雰囲気を一気に盛り上げた。



細木俊明氏

祝宴が続くなか、細木俊明実行委員長が「皆さん、長時間にわたり本当にありがとうございました」と述べ、中締めを行い、記念パーティを終了した。

### 記念ゴルフ大会

第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会記念ゴルフ大会が、8月26日8：00から愛別町の旭川国際カントリークラブで、34人が参加して開催された。

		G	H	N
優勝	上野裕之（共同印刷機材㈱）	84	13.2	70.8
準優勝	岡部信吾（北陽ビジネスフォーム㈱）	96	25.2	70.8
1位	川崎光夫（大丸㈱）	100	28.8	71.2
2位	岳 隆久（㈱岳総合製本所）	78	6.0	72.0
3位	小野晃浩（㈱ドルック）	87	14.4	72.6
ベスグロ	岳 隆久（㈱岳総合製本所）	78		

## 文化典宣言

3年に及ぶ新型コロナウイルスの猛威は、世の中の様相を一変してしまった。

印刷業界もその影響により、取り巻く環境は様変わりし、急進するデジタル化へDX対応が急務となり、未曾有の転換期の渦中にある。

これらの状況を克服し、勝ち残っていくためには、過去の延長線から脱却した新しい印刷産業へのリ・デザインに、果敢に挑戦しなければならない。

本日、北海道印刷工業組合員ならびに関係者は、「リングは何色？イメージを疑え〜『既成概念』という『過去』からの脱却」をテーマに、北北海道の拠点都市、ここ旭川市に集い、決意を新たに、さらなる研鑽を重ね、輝かしい発展を期することを誓い、企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを提供し、国民生活および文化を支え、人々の暮らしを彩り、幸せを創る印刷産業として、社会に貢献していくことを宣言する。

令和5年8月25日

第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会

# 令和5年度全国青年印刷人協議会 北海道ブロック協議会 第29回北海道青年印刷人フォーラム のご案内

北海道印刷工業組合青年部委員会は、令和5年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会ならびに第29回北海道青年印刷人フォーラムを同時開催する。

ブロック協議会とは、全国青年印刷人協議会のメンバーで事業内容を議論し、全国47都道府県の議員皆さんにお伝えする目的で、9月から11月の3か月の間に全国7ブロックで協議会を開催する。

今期のセミナーテーマは、『本業（じく）を拓げる事業戦略～儲かりノベーション発想～』。

「昨年の学びを各社でどう具現化していくか?」という観点から、今期は「実践に向けての学び」のコンテンツを展開していく。

また、昨年のブロック協議会に引き続きワークショップを予定している。

## 記

- |          |   |   |
|----------|---|---|
| 1. 開催日時  | 令和5年9月23日（土）                            | 協議会13:00～17:30／懇親会18:00～20:00                         |
| 2. 開催場所  | かでの2.7 10F                              | 1050会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）                                |
| 3. プログラム | 挨拶                                      | 全青協議長 岩村貴成 氏  |
|          | 「本業（じく）を拓げるビジネス戦略<br>～儲かりノベーション発想～」セミナー | 全青協指名副議長 井上真寛 氏<br>全青協指名副議長 岩月琢也 氏<br>全青協指名副議長 白石陽一 氏 |
|          | ワークショップ                                 | 全青協副議長 齊藤満生 氏   |
| 4. 会費    | 協議会5,000円（税込）／懇親会5,000円（税込）             |   |

# 第17回メディア・ユニバーサルデザイン コンペティション作品募集のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催する。

**全**日本印刷工業組合連合会は、各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責任を果たすためのコンプライアンス活動が求められていることを踏まえ、「すべての人に優しく、誰もが快適に利用できること」を目的として、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサル

デザイン (MUD) 活動」に取り組んでいる。

この取り組みをより強固なものにするために、今年も「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催し、高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対し、見やすさ・伝わりやすさに配慮したアイデアに富んだ作品を募集している。

主 催 全日本印刷工業組合連合会

後援 (順不同) 経済産業省、一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会、朝日新聞社  
一般社団法人日本印刷産業連合会、一般社団法人日本プロモーショナル・マーケティング協会  
公益社団法人日本パッケージデザイン協会、一般社団法人日本図書設計家協会  
NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構  
全日本製本工業組合連合会

協力 (順不同) 東洋インキ株式会社、株式会社イワタ、株式会社モリサワ、全国印刷緑友会  
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・SPACE21、日本青年会議所メディア印刷部会

協 賛 リコージャパン株式会社

応 募 期 間 2023年9月1日(金)～12月7日(休)

募 集 作 品 高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対して、見やすさ・伝わりやすさに配慮したデザイン手法を用いて制作されたもの。  
(例) カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・ラベル・カードゲームなど

募 集 部 門 ①グラフィックテクニック (DTP)

文字、組版、図表、イラスト、色使いなどを工夫した作品

②商品企画

種別、分野は自由でMUDを使用したオリジナル作品

③製本、加工技術

折、製本、形態など後加工で使いやすさに工夫をした作品

※自社制作の成果物として既に流通している製品でも応募可能。

※既成の自社作品について、MUDに配慮し再制作した“before and after”の作品でも構わない。

※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への抵触に注意すること。

応 募 資 格 [一般の部] プロ・アマを問わず、どなたでも応募可能

[学生の部] 大学・短期大学・専門学校・高等学校に在学している学生・生徒

応募対象作品 2022年7月以降に制作されたもの

応 募 方 法 作品1点とデータ1点 (CD-R、DVD、USB等の記録媒体にai/eps/jpeg/pdfのいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの) を、出品申込書とともに送付する。

※受賞作品に選ばれた場合、提出されたデータをもとに受賞作品集の制作を行う

出 品 料 応募作品1点につき、一般の部：3,000円／学生の部：無料

授 与 賞 [一般の部] 経済産業大臣賞 表彰状・賞金…………… 100,000円  
優 秀 賞 表彰状・賞金…………… 50,000円  
佳 作 表彰状・賞金…………… 10,000円  
[学生の部] 経済産業大臣賞 表彰状・図書カード…………… 20,000円分  
優 秀 賞 表彰状・図書カード…………… 10,000円分  
佳 作 表彰状・図書カード…………… 2,000円分

- 審査日 2023年12月20日(水)
- 審査結果発表 審査日より1週間後 入賞者にのみ入賞通知書を送付
- 審査基準 a.メディア・ユニバーサルデザインの観点から、見やすさにおいて優れているもの。  
b.斬新な発想とアイデアにより、独自の新規性や工夫・技法が考慮されているもの。  
c.色彩構成だけでなく企画・デザイン・素材などの組み合わせにより、メディア・ユニバーサルデザインの配慮がなされているもの。  
d.それぞれのメディア（部門）において、実用的かつ機能的なもの。  
上記4点を総合的に勘案し審査を行い、最も優れた作品を経済産業大臣賞として表彰する。
- 審査委員 寺井 剛 俊（金沢美術工芸大学視覚デザイン研究室教授）  
古瀬 敏（一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会理事長）  
伊賀 公一（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構副理事長）  
高橋 正実（MASAMI DESIGN）  
田中 陽介（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構副理事長）  
小浜 朋子（静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科教授）  
武田 一孝（一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会専務理事）  
竹綱 章浩（きづきデザインラボ）  
伊藤 道裕（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会会長）  
橋本 博（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会事務局長）  
浦久保康裕（全日本印刷工業組合連合会CSR推進委員会委員長）
- 表彰式 2024年2月 東京都内で開催予定
- 知的財産権 (1)応募作品に関する知的財産権は、各権利者に帰属することとする。従って、応募者は応募作品に関して、自ら適切な権利処理を行い、第三者の権利を侵害するものでないことを保証するものでなければならない。  
(2)応募作品が第三者の権利を侵害していることが判明した場合、また、類似等が認められる場合は、審査対象からの除外、または受賞を取り消す場合がある。  
(3)受賞作品は展示・公開され、応募作品は各種の印刷媒体・ホームページ等に掲載される場合がある。また、その時に一部の変形および翻案を行う場合がある。  
(4)その他、第三者による権利侵害等の紛争が生じた場合、応募者自らが解決することとし、主催者は損害賠償等の責任を一切負わないものとする。
- 注意事項 ①応募作品およびデータは返却しない。  
②作品の保管場所や審査会場・展示会場の都合により、作品サイズによっては、実物による出品の受付ができない場合がある。
- 作品応募先 公益社団法人日本印刷技術協会  
「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係  
〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11  
電話03-3384-3111/FAX03-3384-3481
- 問い合わせ先 全日本印刷工業組合連合会  
〒104-0041  
東京都中央区新富1-16-8  
日本印刷会館4階  
電話03-3552-4571  
FAX03-3552-7727

# 稚内印刷(株)が創業100周年を迎える

稚内印刷株式会社（杉川真社長）は、今年で創業100周年を迎えた。  
創業日の7月19日、稚内市内の車屋源氏本陣で創業100周年記念祝賀会を開催した。

**杉**川社長は、「弊社は1923年の高木省三が創業して本日、2023年7月19日をもって100年を迎えることができた。これも偏にお客様、従業員、メーカー、ベンダー、地域の皆様に支えられて迎えることができた。今は新型コロナウイルスであったりDXであったり、いろいろな環境の変化に耐えながら毎日営業活動をしている。私たちが環境の変化にしっかり対応していかないと生き残ったり、勝ち残ったりできないと考えている。我々も地方の印刷会社であるが、しっ



かりとお客様のお役に立てるように、さまざまなことにチャレンジして今後も頑張っていきたいと思っている」とあいさつした。

また、同社は100周年を記念して、稚内市に環境に関する事業に活用されることを願って100万円を寄付した。

## 業 界 の う ご き

### ▶(株)サウザンラボ社長に茅賀義弘氏

株式会社サウザンラボ（札幌市北区百合が原4丁目1番34号）は、このたび、天野茂義社長に代わって、新しく代表取締役役に茅賀義弘氏が就任した。

### ▶稚内印刷(株)社長に杉川真氏

稚内印刷株式会社（稚内市中央4丁目2番15号）は、このたび、杉川毅社長が代表取締役会長に就任し、新しく代表取締役社長に杉川真氏が就任した。

# 第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会

## 写真グラフィック



記念式典ご来賓の皆さん



永年勤続優良従業員表彰受賞者の皆さん



大会鍵の引き継ぎ



「2026年札幌で会いましょう」と呼びかける札幌支部の皆さん



記念パーティ会場模様



菅野孝山・優斗さんによる津軽三味線演奏



テーブル対抗ゲーム大会



記念ゴルフ大会表彰式